

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

即戦力となる人材を育成するために、実践的な職業教育を行う必要があるため、企業・関連団体等と密接に連携して、業界で必要とされている技術力・知識や会話・接客などの習得に取り組む。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラムの編成は、校長をはじめとする教務会議で決定するが、教育課程編成委員会からの意見を会議の中で討議しカリキュラムに反映させ、より実専的なカリキュラムになるよう改善に取り組む。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
蝦名 伸治	青森県理容生活衛生同業組合 青森支部長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	①
小野 宏子	株式会社ケンジ	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	①
畑山 祥二	ソラ・ヘアデザイン オーナー	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
白川 徹	青森県美容業生活衛生同業組合 理事長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	①
千葉 英三	有限会社テック 代表取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
坂本 幸司	デイサービスセンター平和台	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	①
藤田 由佳子	Fairy. S. Nail	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
小野 広	株式会社ケンジ	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	①
工藤 美奈子	株式会社ケンジ	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
木浪 賢治	学校法人 木浪学園	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	
藤田 智紀	学校法人 木浪学園	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	
木浪 安菜	学校法人 木浪学園	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	
工藤 徳美	青森県ビューティー&メディカル専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	
藤田 孝稔	青森県ビューティー&メディカル専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	
工藤 もり子	青森県ビューティー&メディカル専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	
今井 誠一郎	青森県ビューティー&メディカル専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(7月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年7月11日 11:00～12:00

第2回 令和4年12月12日 11:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

企業の委員からの意見を参考に、過去に行われてきた基礎技術中心の技術教育を現場に入ると直ぐに求められるジャンプの知識やカラーリングの知識にシフトした他、業界団体委員からの意見により高齢化社会対応型の教育カリキュラムを作り、近い将来の客層変化にも対応できる教育カリキュラムの編成に活用した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携による実習・演習は、主に現場実務(サロンワーク)を企業の社員から学び、より実務的な技術や接客サービス等を習得させるように既存科目の指導内容の改善をし、サロンワークを中心に実務に触れる機会を多く提供し現場で即戦力となる人材の育成を基本方針とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

企業との連携による実習・演習は、主に企業の現場(サロン)に出向きサロンワークを中心に入社して三年以内に現場で必要とされる技術について授業を行う。授業終了後には担当講師から学生の履修状況について報告を受け、これを基に学習成果の評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
スペシャル授業	連携企業の施設(サロン)に出向き、3年以内に必要とされる技術である受付の仕方、お客様のご案内、シャンプーやカット、パーマ、シェービングのサロンワークの技術を学びます。また、ハンドマッサージ等の技術を行い高齢者とのコミュニケーションの取り方や福祉・ボランティア活動など社会で役立つ知識技術を学びます。	恵寿福祉会
ヘアモード	頭髮と頭皮の基礎理論を学び健康で健やかな毛髪と頭皮の理解力を図り、シャンプー剤の選別や特徴・用途を学びます。相モデルとなり技術者とお客様の立場を体験して理解を深める。また、その人の肌に合ったカラーの選び方や実際のモデルを使用して、仕上がりを想定した薬剤塗布の方法を学びます。	株式会社ケンジ
接客接遇	美容師から職業人としての現場での体験談や営業形態、人間関係、コミュニケーションの取り方、ビジネスマナーや、社会人としてすぐ役立つマナーなどを聞き、自分の将来像を考えたシミュレーションを描き目標を明確化します。	株式会社ケンジ
総合技術	直接、技術者の技術を体感することで一連の作業効率の流れをつかみ、連携の取れた技術を学びます。業界内で流行しているサロンヘアのデモンストレーションを見学して流行や常識・最新技術などについて学び、集大成としてヘア、メイク、ネイルから衣装、照明など全て生徒主体のヘアショーを開催します。	株式会社ケンジ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

実践的で専門的な教育を実現するためには、教員の指導力強化が欠かせない。楽しい授業、興味を引くような授業を行う為に、学内での外部講師による研修会の実施や専門技術の研修会などに積極的に参加させ教員の能力や指導力を強化する研修を行うことを基本方針とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:「キャリア相談員養成研修」

期間: 令和4年8月10日(水)

内容: 会話力アップ講座・個性や強みを見つけ出すテクニック

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「合同教員研修会」(連携企業等: 学校法人三和会、学校法人田中学園)

期間: 令和5年3月22日(水) 対象: 県内専修学校教職員

内容:「指導力向上と学生対応について」

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:「東北地区理容美容学校教職員研修会」(連携企業等: 東北地区理容美容連絡協議会)

期間: 令和5年9月24日(日)、9月25日(月) 対象: 東北地区理容美容教職員

内容: 講演、分科会(生活指導、教育指導、美容実演)予定

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「合同教員研修会」(連携企業等: 学校法人三和会、学校法人田中学園)

期間: 令和6年3月中旬 対象: 県内専修学校教職員

内容: 未定

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価の結果を踏まえ、教育活動の各評価項目について改善を行い、より良い教育活動と学校運営が行われることを基本方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	生徒支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	生徒募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	赤十字活動
(11) 国際交流	研修旅行

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会から大変良い活動や成果が出ているにもかかわらず、生徒数が減少しているのは宣伝が足りないのではないかと意見がありましたので、意見を取り入れ、県内各地での体験入学会の開催や広報誌の印刷配布、さらにテレビコマーシャルの実施などを行い、入学者の確保を強化いたしました。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
笹木 正信	青森明の星中学高等学校 校長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	中学校・高等学校
福士 良子	青森市赤十字奉仕団仲三上町分団 分団長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	地域住民
前田 尚孝	ヘアサロン前田 代表	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	卒業生
千葉 恵未	PLEDGE HAIR MAKE 副代表	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業
高谷 優子	スマイル&スプーンキッチンスタジオ 代表	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<http://www.kinami.ac.jp>

公表時期: 毎年3月末日までに公開

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業などと連携していく為に、本校の現状や教育成果などをまとめた広報誌の配布やビデオでの説明などを年二回行っている他、技術大会の参観などで生徒の状況を観てもらう機会をつくる。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校の評価
(10) 国際連携の状況	海外研修

(11)その他	
※(10)及び(11)については任意記載。	
(3)情報提供方法 (ホームページ、広報誌等の刊行物) URL: http://www.kinami.ac.jp	